川崎市の気候変動の現状及び市民生活への影響について

川崎市気候変動情報センター (川崎市環境局環境総合研究所)



目次

I 川崎市の気候変動の現状

- ・川崎市気候変動レポート(気温・降水量)について
- ・市内気温分布調査(夏期)について

Ⅱ 気候変動と将来予測

・気候変動により将来の暮らしはどうなる?

Ⅲ 気候変動による市民生活への影響

- ・気候変動の影響で高まる熱中症リスク
- ・川崎市の取り組む熱中症対策





1 川崎市気候変動レポート (気温) 川崎市気候変動情報センター作成

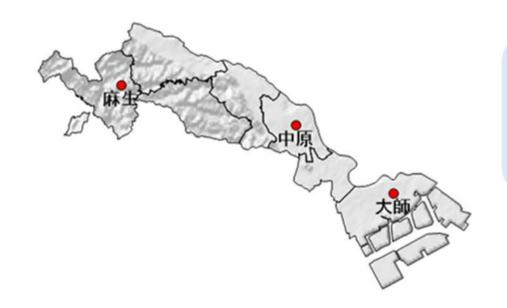
概要:市の代表地点で(南部・中部・北部)で気象データの経年変化を

気候変動の視点でとりまとめた

データ期間:1985年~2023年

測定地点: 3 地点(大師、中原、麻生)

使用データ:川崎市大気データ(一般環境大気測定局 測定データ)

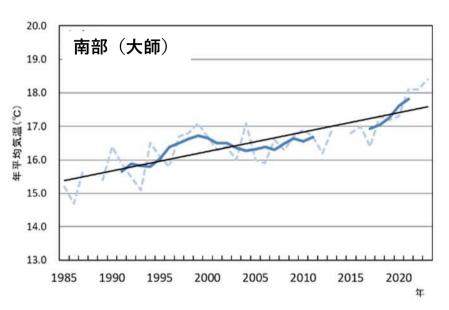


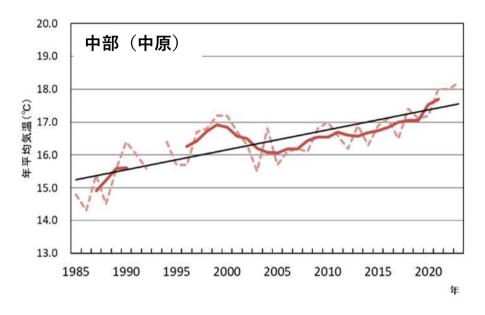
川崎の南部、中部、 北部を代表する3地点で 測定しています

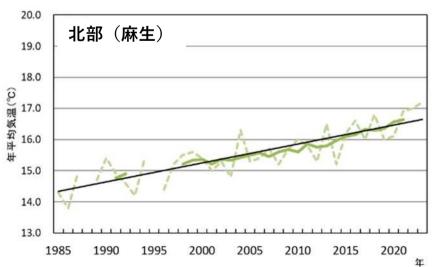


1 川崎市気候変動レポート (気温) 川崎市気候変動情報センター作成

(1) 川崎市における年平均気温の経年変化







5年移動平均と変化傾向

棒グラフは各年の値、折れ線は各年の値の5年移動平均、 直線は各年の値の変化傾向を示しています。

全ての地点で上昇傾向

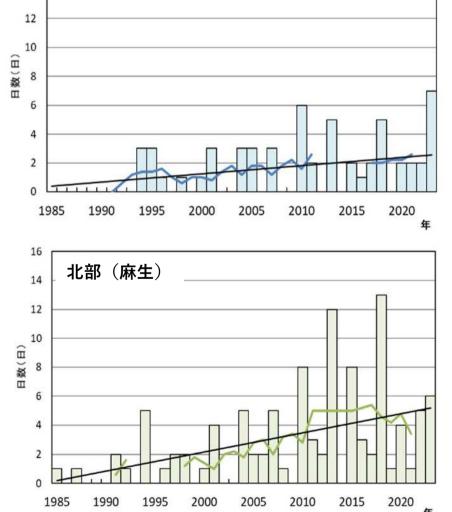
16

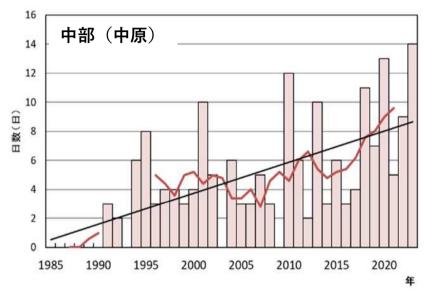
14

南部 (大師)

1 川崎市気候変動レポート (気温) 川崎市気候変動情報センター作成

(2)川崎市における猛暑日日数の経年変化





猛暑日:日最高気温が35℃以上の日

5年移動平均と変化傾向

棒グラフは各年の値、折れ線は各年の値の5年移動平均、 直線は各年の値の変化傾向を示しています。

全ての地点で上昇傾向

2 川崎市気候変動レポート(降水量) 川崎市気候変動情報センター作成

概要:市の代表地点で(南部・中部・北部)で気象データの

経年変化を気候変動の視点でとりまとめた

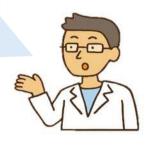
データ期間:1978年~2023年

測定地点: 3 地点 南部(幸区)、中部(宮前区)、北部(麻生区)

使用データ:国土交通省水文水質データベース(降水量)



国土交通省のデータを 活用しています



2 川崎市気候変動レポート (降水量) 川崎市気候変動情報センター作成

(1) 川崎市における年降水量の経年変化







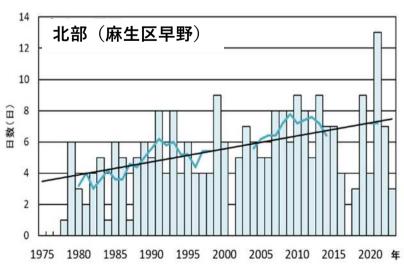
5年移動平均と変化傾向 棒グラフは各年の値、折れ線は各年の値の5年移動平均、 直線は各年の値の変化傾向を示しています。

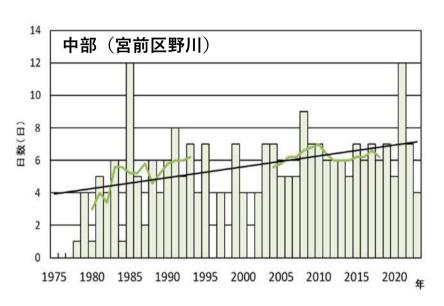
中部、北部で**増加傾向** 南部では変化傾向は見られない

2 川崎市気候変動レポート(降水量) 川崎市気候変動情報センター作成

(2) 川崎市における日降水量50mm以上の経年変化







5年移動平均と変化傾向

棒グラフは各年の値、折れ線は各年の値の5年移動平均、 直線は各年の値の変化傾向を示しています。

全ての地点で増加傾向

3 市内気温分布調査(夏期)

概要:気候変動の影響を把握するため、

気温分布の地域特性を調査

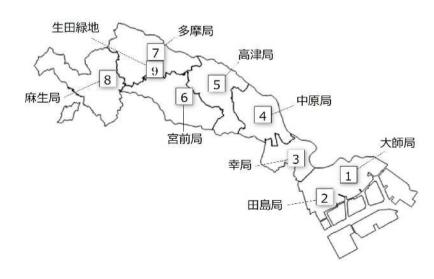
データ期間:夏期 2024年7月~8月の2か月間

測定地点: 9地点(大師、田島、幸、中原、

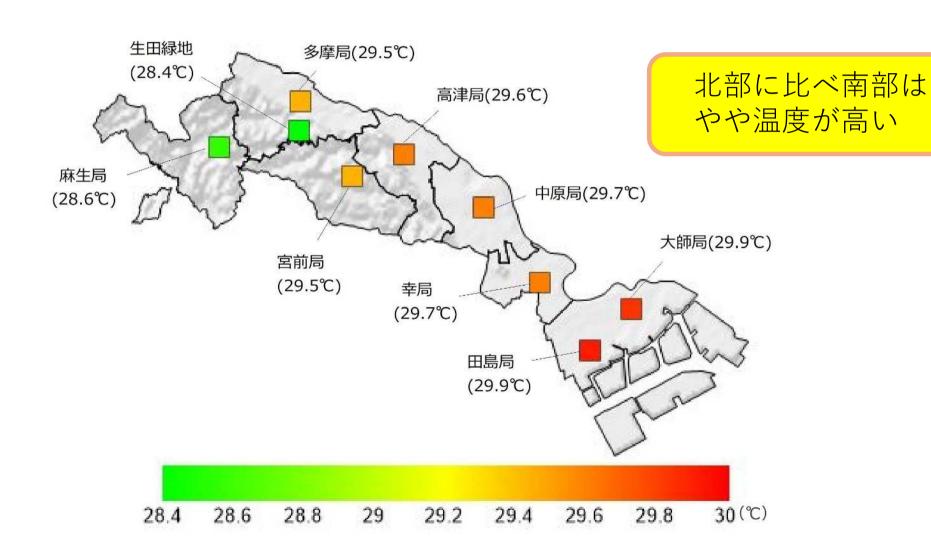
高津、宮前、多摩、麻生、生田緑地)

使用データ:

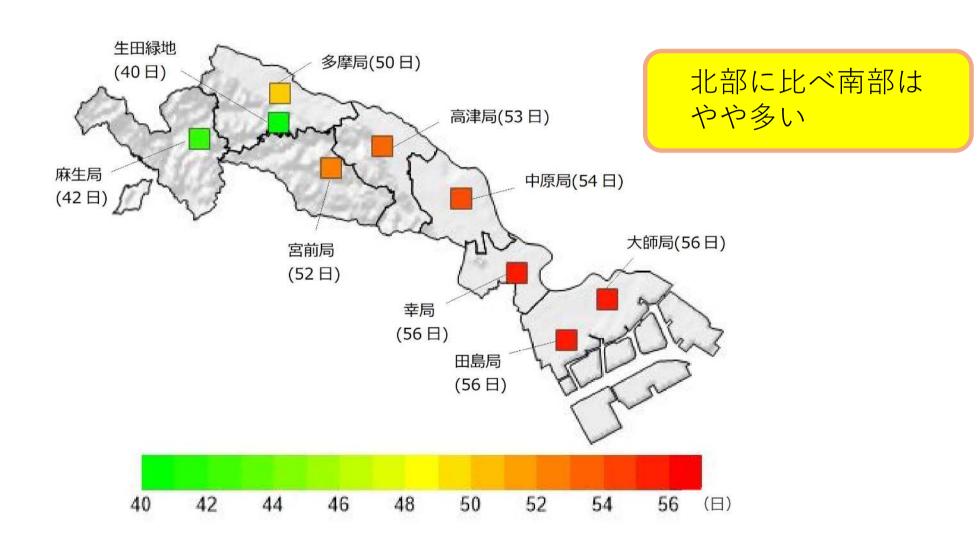
生田緑地を除く8地点	生田緑地
川崎市大気データ 一般環境大気測定局 測定データ	小型気象計



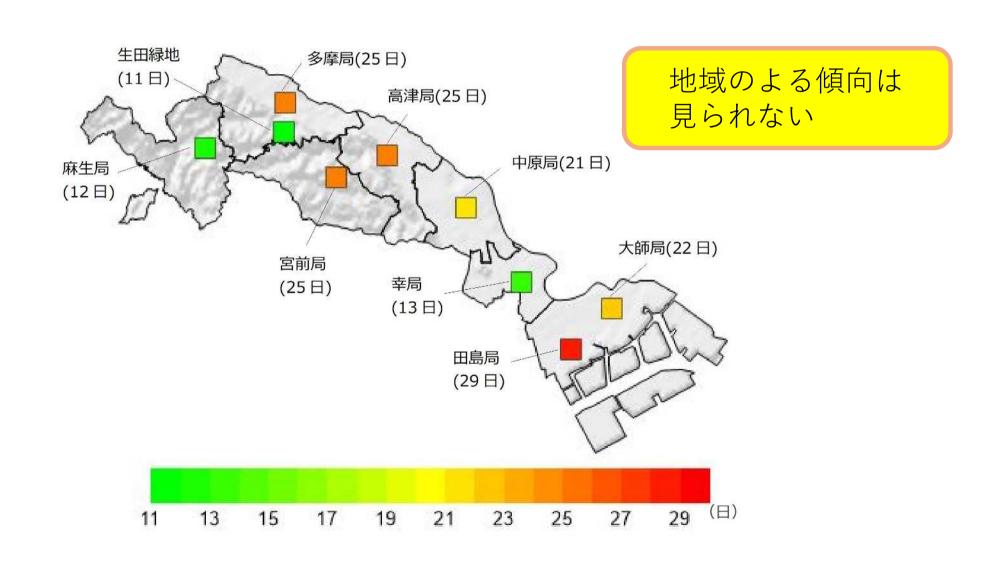
- 3 市内気温分布調査 (夏期) 川崎市気候変動情報センター作成
 - (1) 川崎市における平均気温の分布(2024年度)



- 3 市内気温分布調査 (夏期) 川崎市気候変動情報センター作成
 - (2) 川崎市における熱帯夜日数の分布(2024年度)



- 3 市内気温分布調査 (夏期) 川崎市気候変動情報センター作成
 - (3) 川崎市における猛暑日日数の分布(2024年度)

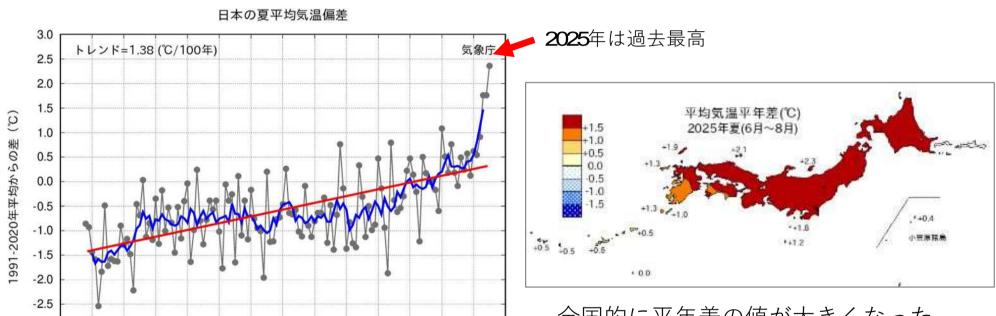


1890 1900 1910 1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020 2030

-3.0 -3.5

(参考) 今夏の日本の気温(6月~8月)

2025年夏(6~8月)の日本の平均気温の基準値(1991~2020年の30年平均値)からの偏差は+2.36°Cで、1898年の統計開始以降、最も高い値だった



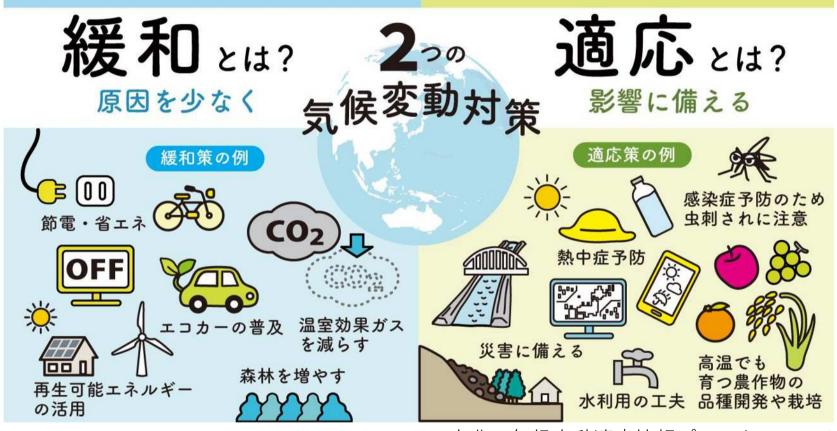
全国的に平年差の値が大きくなった

高温の理由:夏を通じて偏西風が平年より北に偏って流れやすく、 暖かい空気に覆われたため

気象庁「2025年夏(6月~8月)の天候」9月1日発表 より改編

II 気候変動と将来予測

1 気候変動対策 緩和と適応



出典:気候変動適応情報プラットフォーム

世界で、厳しい緩和策が実行された場合でも、 21世紀末には20世紀末と比べて日本の年平均気温は約1.4°C上昇 (気象庁 日本の気候変動2025)

Ⅱ 気候変動と将来予測

2 気候変動により将来の暮らしはどうなる?

21世紀末の日本の予測

今後、有効な温暖化対 策を行わなかった場合、 20世紀末と比べて

猛暑日の年間日数 約18日増加 年平均気温 約4.5℃上昇

熱帯夜の年間日数 約**38**日増加

最高気温が **35°C**以上 最低気温が **25°C**以上

II 気候変動と将来予測

2 気候変動により将来の暮らしはどうなる?



果樹の栽培に適した地域の変化



サクラ等の開花が早くなり、行事やお祭りの時期へ影響



気象庁 日本の気候変動2025、環境省 気候変動影響評価報告書より作成

1 気候変動の影響で高まる熱中症リスク

(1) 川崎市における熱中症救急搬送者数の経年推移

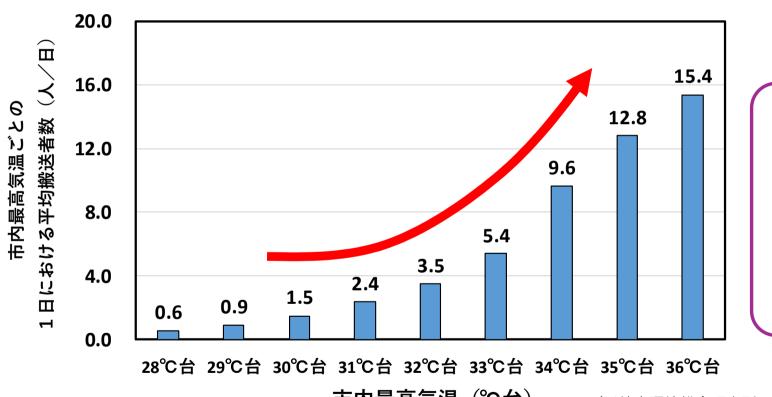


気候変動による市民生活への影響

気候変動の影響で高まる熱中症リスク

(2)川崎市の最高気温と熱中症救急搬送者数の関係

(2013年度~2022年度の市内集計結果)



[POINT]

ちょっとした熱中症対 策を行うことでリスク を大幅に減らすことが できます。

熱中症予防の正しい知 識を習得し、在宅時も 外出時も正しく行動す ることが大事です。

市内最高気温 (℃台) (川崎市環境総合研究所

最高気温30°C以上で熱中症リスクが急激に増加! 気温2°C分に相当する対策で、熱中症リスクを半分以下に抑制

2 川崎市の取り組む熱中症対策

(1) 夏季の暑さを考慮した行動の考え方

熱中症予防は、

脱水症状にならない と 体温の上昇を抑える

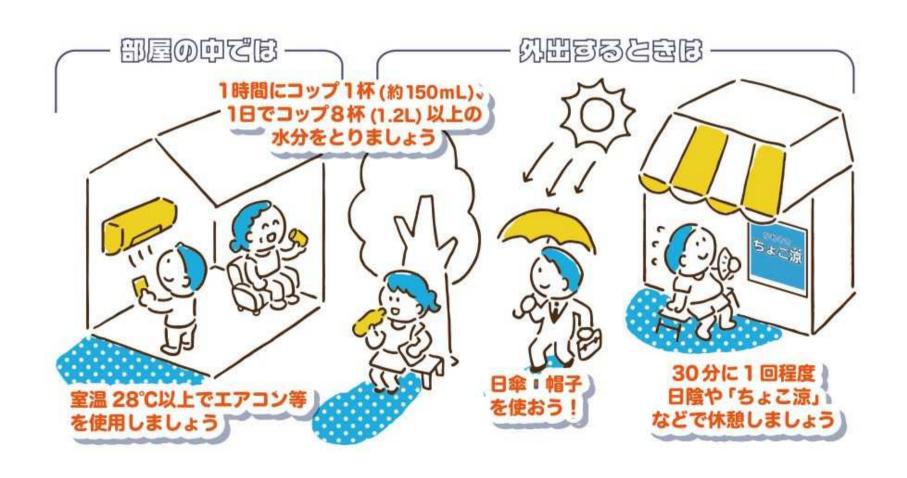
が基本です。

次の「適応アクション」の実践を推進

- ●1時間にコップ1杯(約150mL)、1日でコップ8杯(1.2L)以上の 水分をとりましょう
- ●【屋内】室温28°C以上でエアコン等を使用しましょう
- ●【屋外】日傘・帽子を使おう
- ●【屋外】30分に1回程度、日陰や「ちょこ涼」などで休憩しましょう

2 川崎市の取り組む熱中症対策

(1) 夏季の暑さを考慮した行動の考え方



出典:暑さに負けない生活の心得/川崎市作成

2 川崎市の取り組む熱中症対策

(2) 高齢者を対象とした地域が一体となった取組

- ●高齢者向け体操教室、茶話会等の地域活動を実施する団体と 連携・協力し、液晶温度計付き熱中症予防チラシを顔の見え る状況で配布
- ●環境再生保全機構モデル事業においてチラシ1万部を作成
- ●各区役所、健康福祉局、環境局で連携して実施

2 川崎市の取り組む熱中症対策

(2) 高齢者を対象とした地域が一体となった取組





液晶温度計付き熱中症予防チラシ

主な配布先

区役所(民生委員等) 4300部 地域包括支援センター 3250部 その他 1130部

6月24日 NHK首都圏ネットワーク で取組紹介

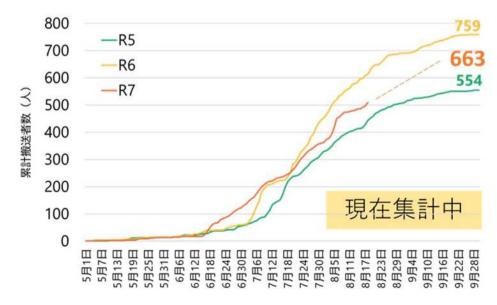
- ・口コミで、地域の民生委員、 地域包括支援センターなど が活用
- ・訪問活動などのツールとして大好評

(参考) 今夏の川崎市の熱中症救急搬送者数等

熱中症救急搬送者数と神奈川県熱中症警戒アラート発表数の推移

	熱中症救急搬送者数			警戒アラート
	川崎市	全国	神奈川県	発表数
2023年	554	91,467	4,024	26
2024年	759	97,578	4,814	37
2025年 (速報値)	663 <mark>(-96)</mark>	100,143 (+2,565)	4,958 <mark>(+144)</mark>	30 (-7)

※期間:5月から9月、カッコ内は前年度との増減を示す



市内熱中症救急搬送者数の推移

関東地方における 梅雨入りと梅雨明けの日

	梅雨入り	梅雨明け
2023年	6/8	7/22
2024年	6/21	7/18
2025年	6/10	6/28